

令和3年度 北海道地域子ども会育成研究協議会 開催要綱

1. 趣 旨 コロナ禍において子どもたちの環境は困難を極めました。体験と交流が自由に行えなくなり、日常の活動が社会と分断され、健全な成長を大きく疎外されました。次年度を見据えて、地域の子ども会活動推進に関わる育成・指導上の問題点を明らかにします。また今話題になっているSDGsの理解を深め、これからの子ども会活動への導入について研究協議します。
2. 開催日 令和4年2月19日（土） 12時 受付開始 12時30分 開会
3. 会 場 北海道立道民活動センター かでる2. 7 1040会議室
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1
4. 主 催 一般社団法人 北海道子ども会育成連合会
公益財団法人 全国子ども会連合会
5. 後 援 北海道 北海道教育委員会
(予定)
6. 参加者 定 員 42名（11/未 現在 63人定員）
ZOOM参加を可能といたします。
参加範囲 ①子ども会育成者・指導者 ②青少年団体関係者 ③社会教育関係者
④PTA関係者 ⑤社会福祉協議会 ⑥地域における各種団体関係者
⑦子どもについて関心のある方
7. 参加費 (1) 参加料（資料代） 無料
8. 申込期限 令和4年2月7日（月）必着

9. 日 程	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
2/19 (土)	受 付 12:00	開会式 表彰式 12:30	講 演 12:50~13:40	休 憩	シンポジウム 13:50~15:50
					閉 会 式

10. 内 容 メインテーマ 「コロナ禍の子ども会活動を考える」

- ①講 演 12時50分～13時40分
演題 「新型コロナウイルスと子どもの活動」
講師 北海道医療大学・先端研究推進センター長
特任教授 小林 正伸 氏

講師 プロフィール

小林 正伸 氏
1953年栃木県生まれ、1978年北海道大学医学部卒業
北海道大学医学部第3内科入局後、血液内科医として北海道大学医学部付属病院
および関連病院にて臨床・研究・教育を行う。
1987年より2年間オーストラリア国立大学客員研究員、北海道大学医学部付属
癌研究施設病理部門講師、同助教授として癌の発症メカニズムについて研究。
2008年北海道医療大学看護福祉学部教授を経て2020年より現職。
2016年2月より2020年2月まで北海道新聞夕刊の健康欄に月一回執筆。
2020年3月より北海道新聞朝刊の「中高年のカルテ」を月一回執筆。

②シンポジウム

13時50分～15時50分

テーマ 「体験・交流活動と持続可能な社会づくり」

登壇者 EPO北海道 チーフ 溝淵 清彦 氏
厚真町立厚真中学校校長 阿部 隆之 氏
自然考房 Nature Designing 代表 鈴木 宏紀 氏

登壇者 プロフィール

ミヅチ キヨヒコ
溝淵 清彦 氏

1973年 香川県生まれ 北海道大学文学部卒
民間シンクタンクで政策立案に関わる市民会議の運営や特集紙面の編集に従事した後、2009年より、道内を活動対象エリアとした環境分野の中間支援組織 公益財団法人北海道環境財団にて、持続可能な社会づくりに向けた環境省北海道環境パートナーシップオフィス運営業務を担当。SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた地域の伴走支援等を行う。
市民活動では札幌圏を中心に、ファシリテーションの研修やワークショップの企画運営等を行っている。

アベ カズキ
阿部 隆之 氏

1966年 室蘭市生まれ 北海道大学大学院教育学院修了
胆振管内等の中学校で教職を務めた後、社会教育行政で国立大雪青少年交流の家、石狩教育局、道立生涯学習推進センター、道教育庁生涯学習課などを経て2018年伊達市立大滝中学校、2019年から現職。
室蘭市で地区子ども会の会員として子ども会活動に関わり、ジュニアリーダー、青年リーダー、指導者と活動を続け、現在、当会子ども会検討委員会の座長を務める。

スズキ ヒロキ
鈴木 宏紀 氏

1975年 愛知県生まれ 宇都宮大学農学部森林科学科卒
青年海外協力隊でタイで植林支援を行った後、財団法人オイスカ（熱帯植林・環境教育専門員）NPO法人国際自然大学校（埼玉校マネージャー）勤務ののち国立日高青少年自然の家で体験活動コーディネーターとして勤務。
2018年独立開業、自然ガイドや野外活動施設の運営を行うほか、体験ツアーやイベントの企画・運営を通じた観光まちづくりに取り組んでいる。

11. 参加申込方法

（2方法ありますのでお選びください 会長は札幌で、役員は市町村で、 の分散参加も可能）
（分散参加の場合申込用紙は2枚に分けてください）

- ① 札幌会場 参加を希望する方は、所属団体（市町村子連）を通じて、申込期限である2月7日（月）必着にて、別紙申込書により道子連事務局へお申込みください。
- ② 市町村会場（ZOOM配信） 参加を希望する方は、所属団体（市町村子連）を通じて、申込期限である2月7日（月）必着にて、別紙申込書により道子連事務局へお申込みください。その際、ネット配信が受信できるメールアドレス1つを道子連にメールでお知らせください。（市町村で1つとします。）
ZOOM配信で、多くの皆さんと視聴すると思いますので、プロジェクターで投影するなどしてください。会場のご用意もお願い致します。（使用料の助成はありません。）
なお、参加者一人一人への配信はいたしませんので、団体で視聴するメールアドレスをお知らせ頂きますとZOOMの招待が届きます。

・申込先 一般社団法人北海道子ども会育成連合会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 9F
北海道立生涯学習推進センター内（電話・FAX 011-271-4152）
メール： doukoren@yahoo.co.jp

- * 本研究協議会の参加者は、原則、安全共済会に加入して頂きます。加入されていない場合は、加入手続きをお済ませの上、お申込みください。
- * 質疑応答については札幌会場優先といたしますが、市町村会場でご質問をお受けできない場合は後日、道子連事務局あてメール（必須）で送信してください。まとめて、講師の先生にお渡しし回答をいただきます。回答は皆様にご覧いただけるようホームページに掲載予定です。
- * 札幌会場にご来場の皆様は、2週間前からの体調管理、当日の検温、手指消毒、マスク装着にご協力ください。（かでるはマスク無しに入場できません）
- * 各会場も感染防止対策には十分ご注意ください。

本年は、新型コロナウイルス感染症拡大により、予定しておりました全国大会が中止となり、それに伴いまして全道の育成研究協議会は半日日程とし、昨年同様ネット配信も同時に行うことといたします。

令和3年度北海道子ども会育成連合会表彰の表彰式を行いますので、被表彰者の皆様のご参加をよろしくお願いいたします。当日参加されない場合は、各管内、各市町村の中でしかるべき時に表彰をお願いいたします。

お問い合わせ先

一般社団法人北海道子ども会育成連合会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 9F

北海道立生涯学習推進センター内（電話・FAX 011-271-4152）

E-mail: doukoren@yahoo.co.jp

<https://www.doukoren.com/>